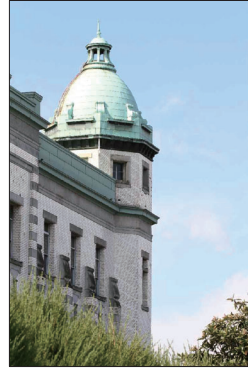


計画概要・案内図

◇プロジェクトについて

第八十五銀行本店として大正7(1918)年に建てられ、
蔵造りの伝統的な町に近代的なあゆみを示す象徴として、
平成8年 国の登録有形文化財に指定。

年間来客数700万人をほこる川越「蔵造り一番街」のメイン通りの中心に位置する旧八十五銀行本店を産業育成・発展の場とし、それを起点に観光や暮らしにも波及して次の川越を創出していく。

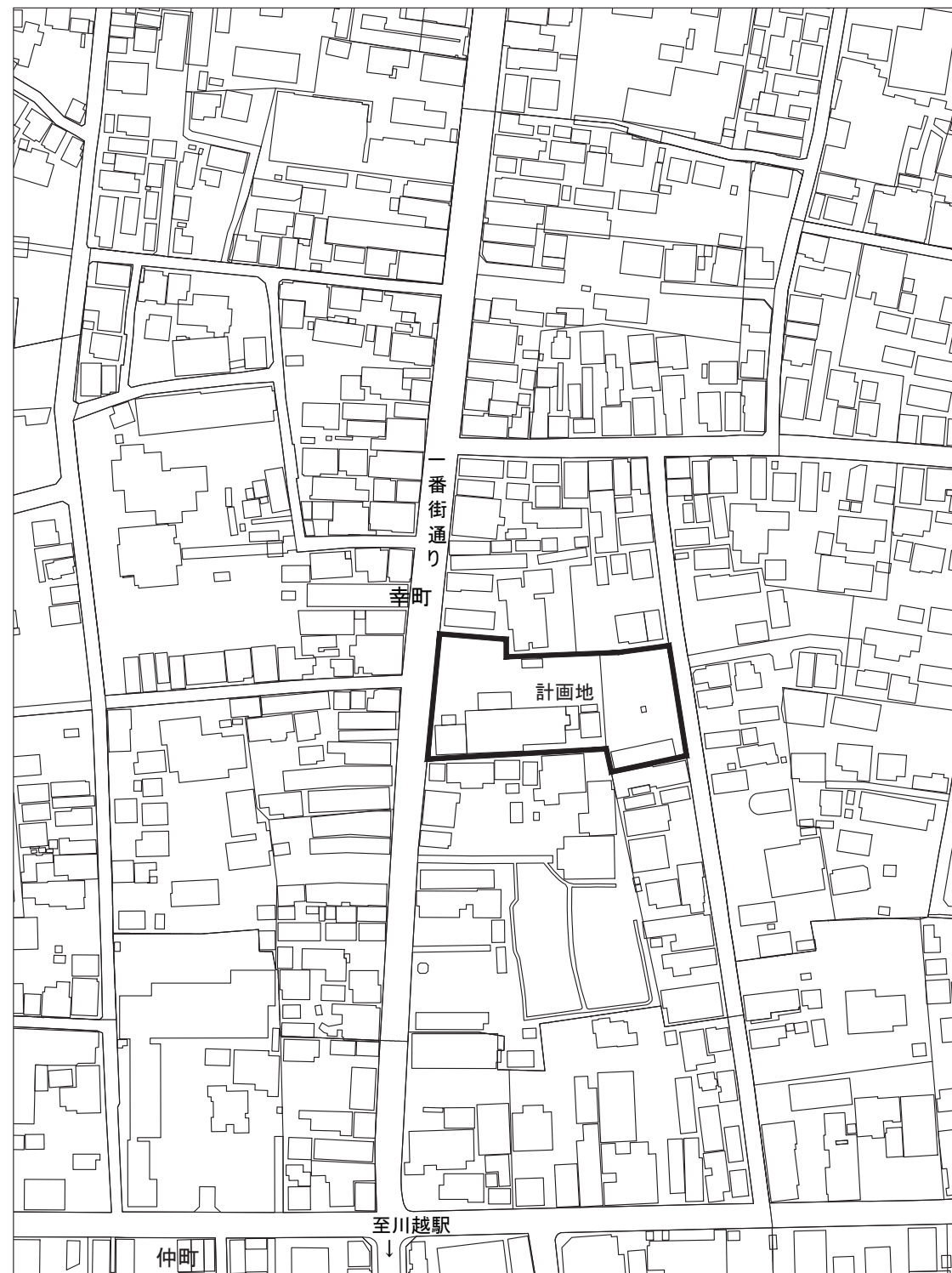


1. 計画概要

- 所在地 川越市幸町4-1
- 用途地域 商業地域
- その他地域 準防火地域、川越市伝統的建造物群保存地区
- 基準容積率/基準建蔽率：400% / 80%
- 敷地面積 3,163.76㎡
- 延床面積 計画建物 約1,700㎡(別棟既存、新築駐輪場を含む)
- 規模 地上5階、地下1階、塔屋1階
- 用途 物販・飲食・事務室 等 (※物販・飲食は1500㎡以内)
- 計画建物
 - 既存残置：文化財部分・既存ATM部分・既存東側部分、書庫室(倉庫)
 - 撤去建物：既存貸金庫部分、車庫、駐輪場



建物屋上より



案内図 1/1500

※本計画資料は、今後各協議により変更の可能性があります。

□基本方針

1. 回遊性の確保

- ・敷地内に広場及び貫通通路を設け
一番街通りから敷地東側道路、時の鐘
に至る回遊動線を設定する。
- ・蔵の街の中心にある本計画敷地を賑わいの
結節点として地域振興へ貢献を目指す。

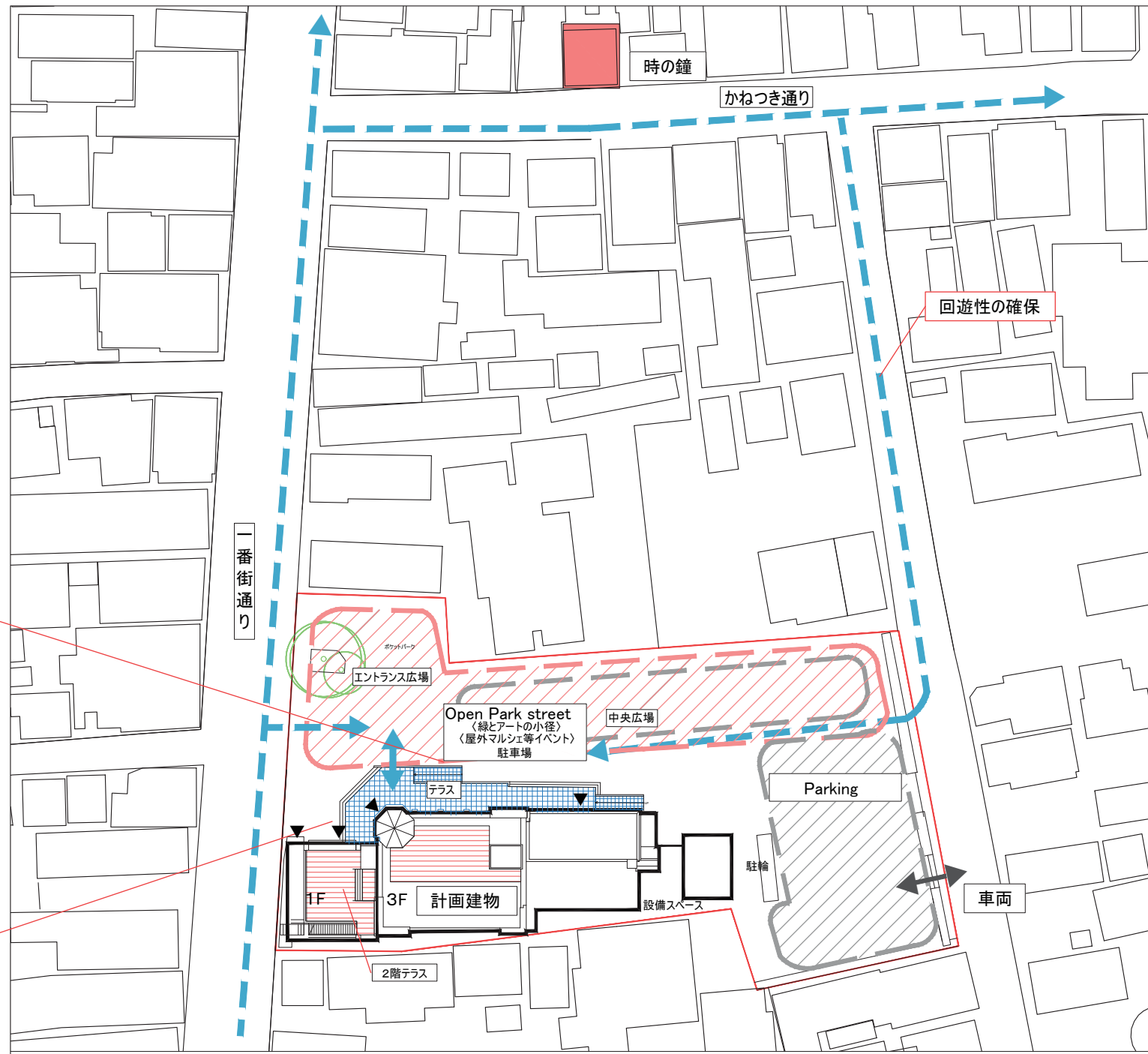
2. 建物間口幅の広場の整備

Open Park Street

- ・建物の出入口のある建物桁行面に面する
広場を設定する。
- ・前面通りの賑わいを敷地内に引込み、歩行者
を自然に建物内に導く設えとする。

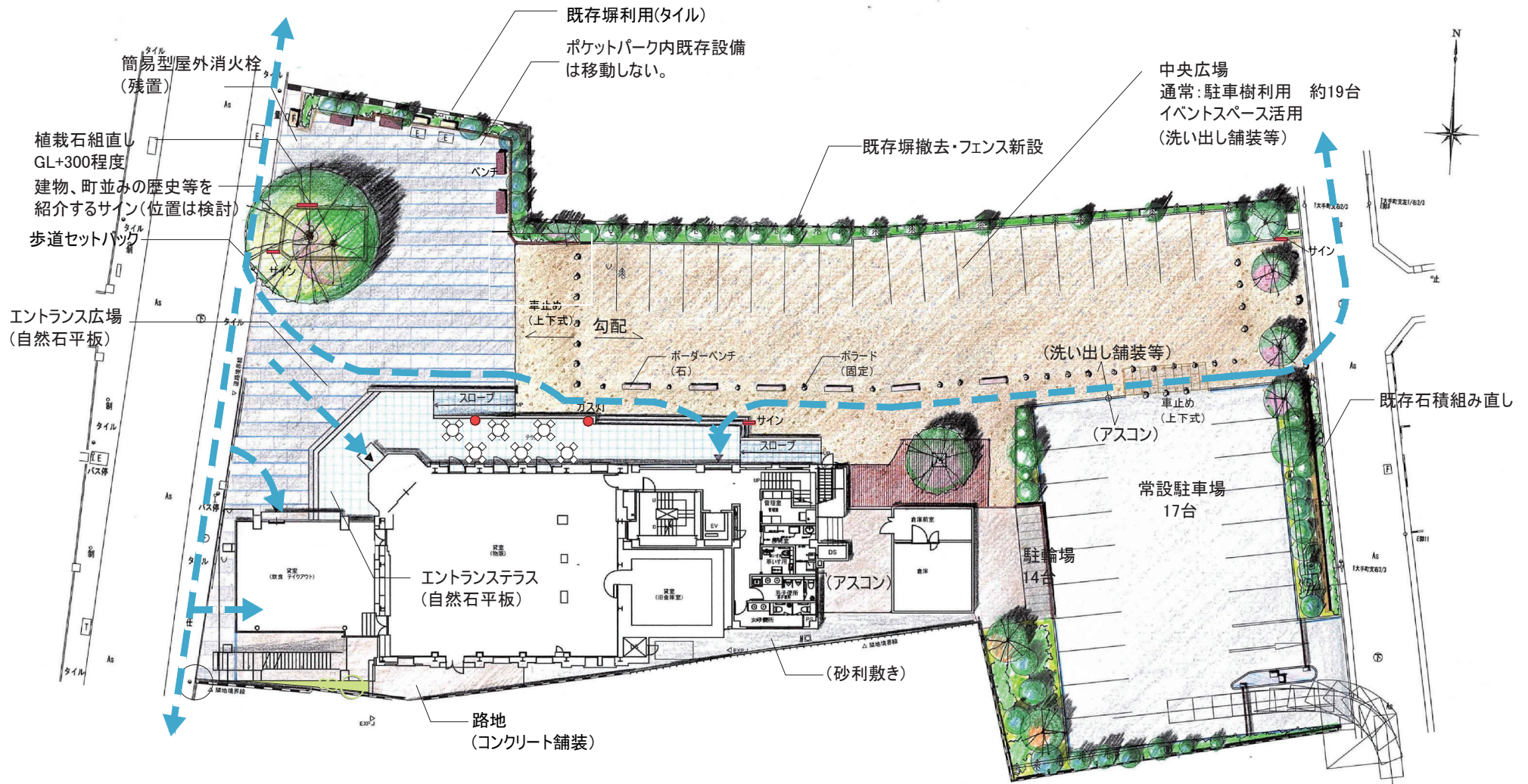
3. 安全性の確保

- ・基本的には敷地内は歩車分離の動線とする。
- ・一番街通り(西側道路)側は歩行者のみとする。
- ・東側道路からのアプローチは、車両と歩行者の
出入口を分離する。



回遊性の確保

配置イメージ





※今後の協議により変更の可能性があります。

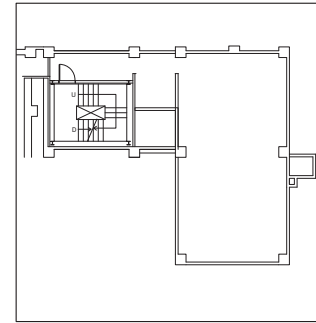


平面計画・店舗区画面積

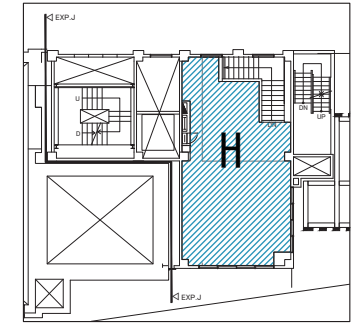
	室内専用部(㎡)		テラス(㎡)	
	エリア	(躯体内法面積)	エリア	
RF			G' (※2)	88
3 F	G	227		
2 F	F	56		
	E	102		
	D	153	D'	54
M2F	H	58		
1 F	C	243	C'	37
	B	42		
	A	41		
専用部荷重設定	300 k g / m ² (※1)			

- 凡例
-  専用部分
 -  専用部分(外部)

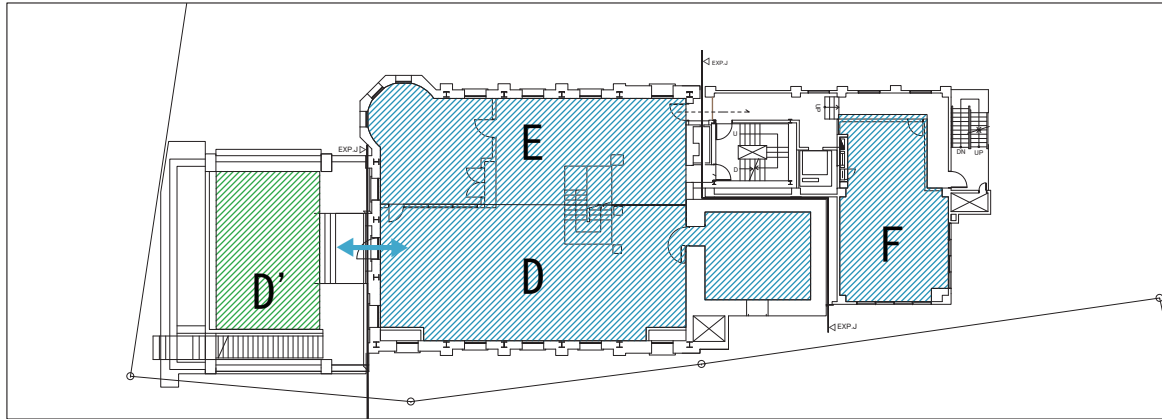
※1 荷重設定内でも重量物を集中配置する場合は、検討が必要です。 ※2 荷重制限により、G'の範囲を拡大することはできません。



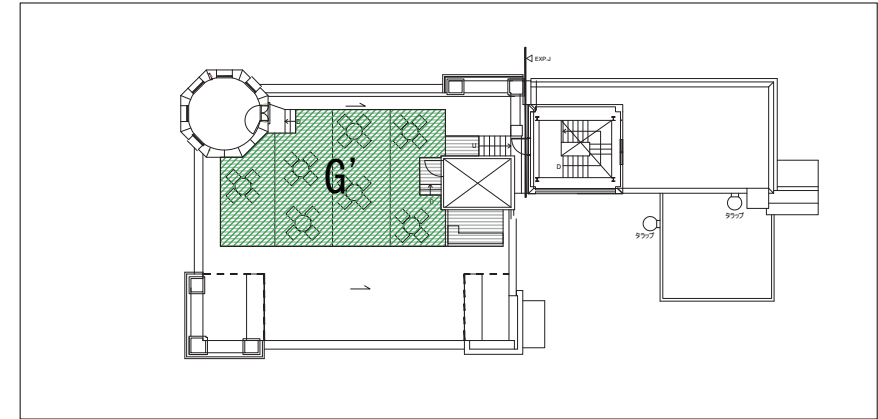
地下1階平面図



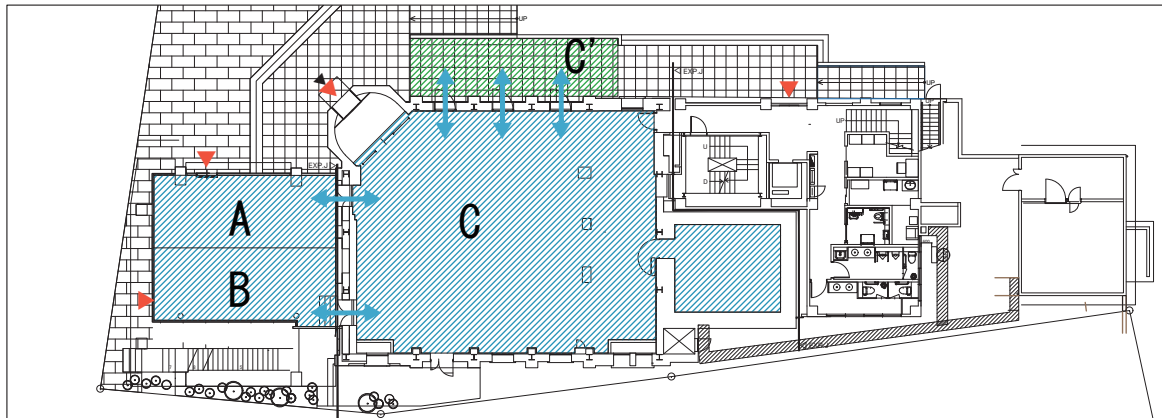
M2階平面図



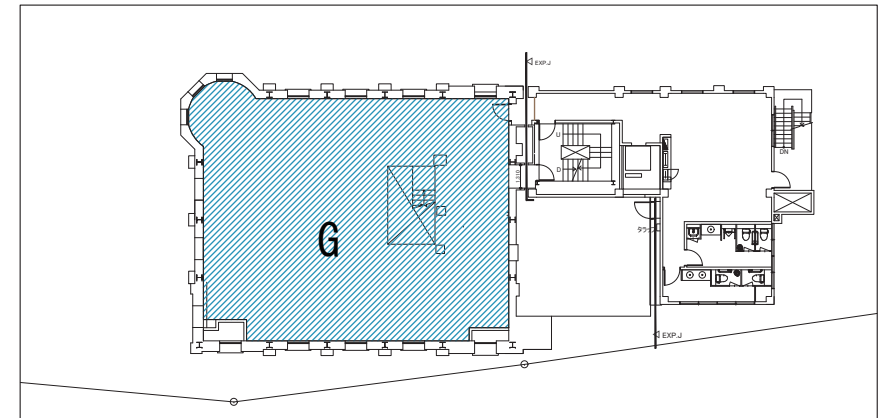
2階平面図



R階平面図



1階平面図

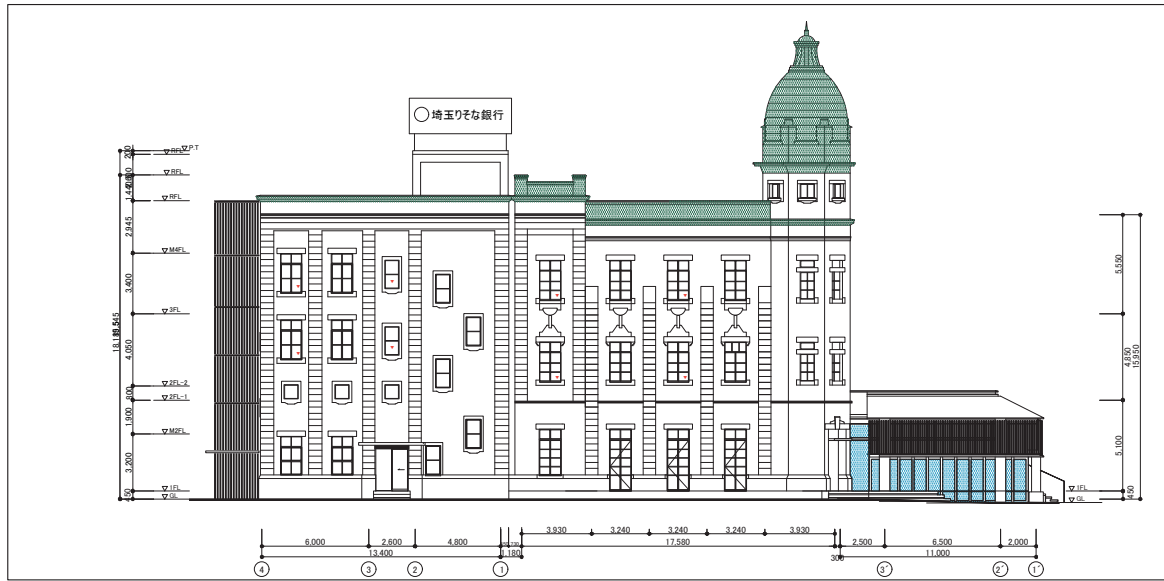


3階平面図

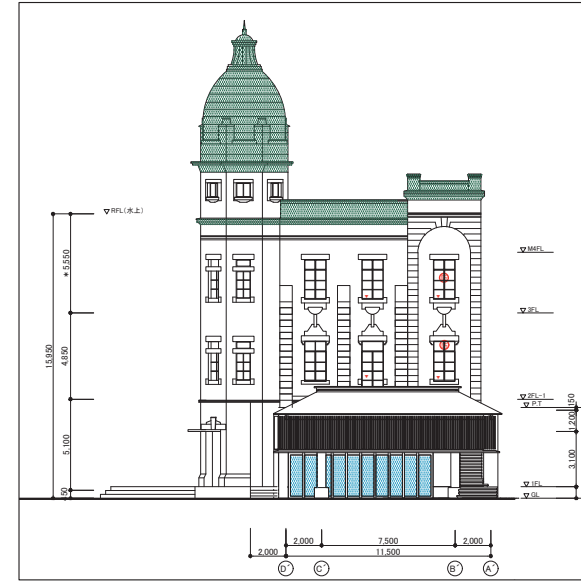
平面プランは今後、変更の可能性があります。



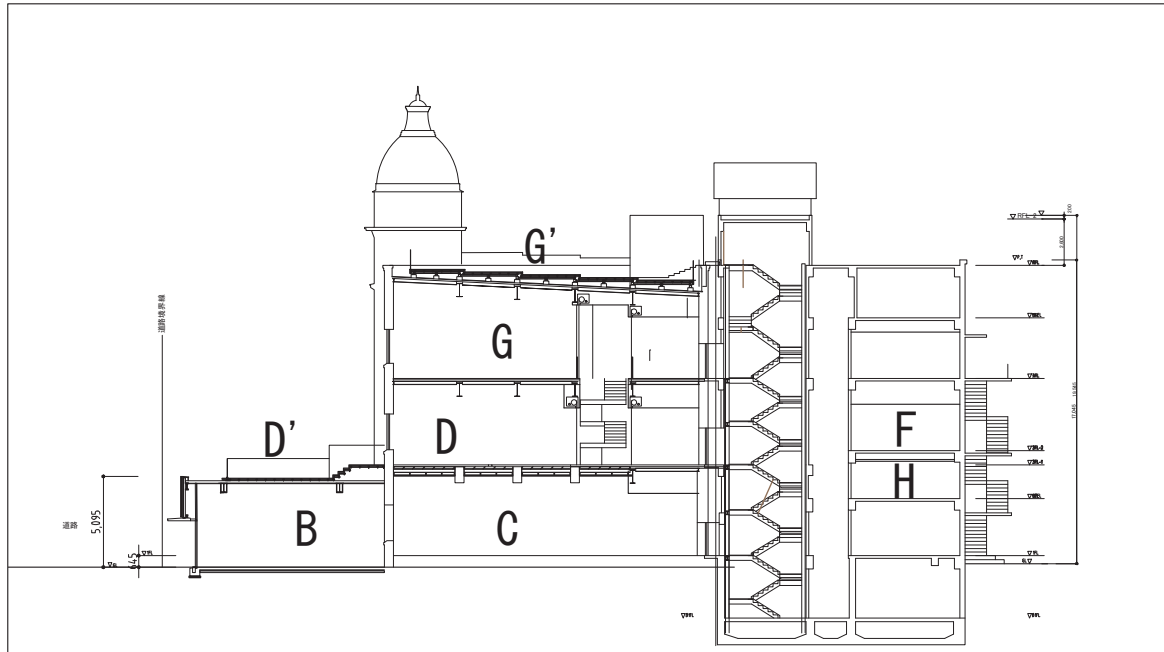
立面・断面計画



北立面図



西立面図



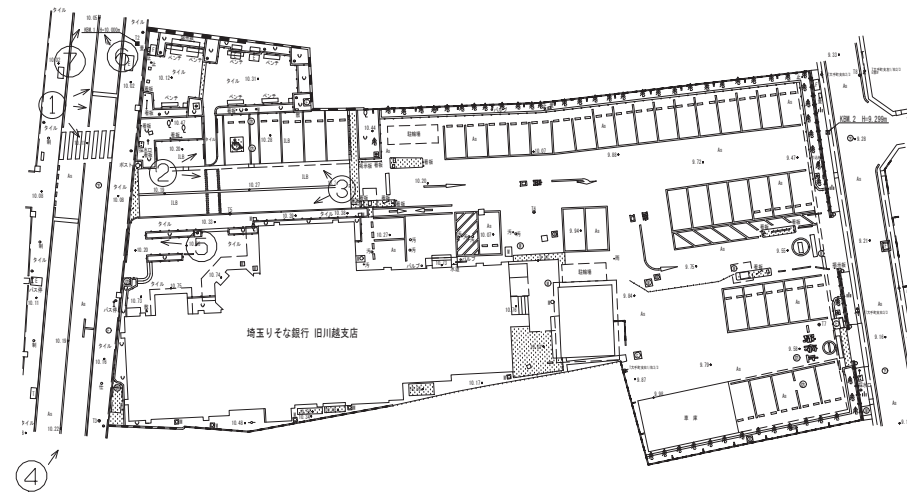
aa 断面図



※今後各協議により変更の可能性があります。

周辺環境1

①



②



③



④



⑤



⑥

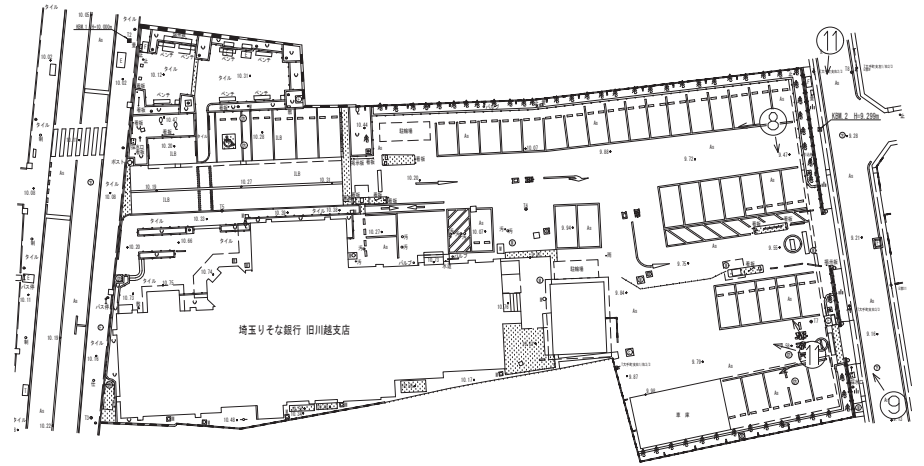


⑦



周辺環境2

⑧



⑨



⑩



⑪

